慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	仏国人口の将来（下）
Sub Title	
Author	阿部, 秀助
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.10 (1917. 10) ,p.1355(105)- 1358(108)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19171001-0105

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

扱を爲さんとするや、將た又半ば癈疾者と爲れる兵卒に對しては如何なる職業を與へて其生活を全ふせしむ可きや、共に重要なる問題にして之を處理する爲め、諸地方に地方事務局を設け傭者併に勞働者を委員の多數に充て、戰爭の爲めに或は軍需品製造の爲め、一旦職業を棄てゝ戰後之に復せんとする者に職業を授くるの計を講ぜしめんとするの說ある所以なり。

（二）戰爭と共に終る可き特殊の約定。政府は戰時職工組合と種々の約定を爲し、或は生產に關する職工組合の制限的條項、仕事に於ける差別の緩和を求め而して戰爭終熄の後には總て是等の讓步は消滅して、戰前の狀態に復歸するの條件を付したり。故に將來發生す可き事件に關しては、何等疑を挾む可きものなきが如しと雖も、戰時多數の工場は新型の機械道具を應用し事情の戰前と異なるものを生じ、賃銀其他勞働條件に關して條件を改めざる可からざるに至れり。平和恢復の曉には一時少なくとも國際間に大なる需要を生じ、產業の繁昌を告ぐるが如しと雖も、同時に國際間の競爭は熾烈と爲る可し吾人にして新設備を利用せんか必ずしも將來を悲觀するを要せず、傭者幷に勞働者が舊時の約定を再考し、双方に適する條件の下に、生產の增加を期して、需要の增加に當るを以て急務とす可し。

（三）平和成立に對する準備。平和成立の際には商工業に變動の起ること當然なるを以て、內國に於て斯業に經驗の豐富なる人士をして市場原料品の供給、金融上の狀況等を資料として、內外貿易に關する觀測を試みしめ、之を勞働者の代表者に示すと共に、資本家勞働者をして將來に處するの道を攻究せしむ可し。

佛國人口の將來（下）

阿部秀助

二

佛國人口の將來に關して、殊に直接の利害關係を有するものは同國の陸海軍にして、現に其要求數を齎らすこと能はざる困難は年々大となり、其結果、肉體上、精神上不合格者として除隊せられしものが再び軍籍に編入せられしものあり、即ち千九百九年春の調査によれば健全なる體格を有するものは只だ僅かに五十二萬一千人にして法律上の募集規定たる五十七萬人に及ばざること四萬九千人に達せり、而して同國は以上軍事上の缺陷を充たさんが爲めに更に「セネガル」及「スーダン」方面より土着の土人を以て一種の殖民軍を編成せしむるの已むを得ざるに至れり、斯くの如く佛國の大患たる人口減少の理由に就きては世人の傳ふるもの一にして足らず、或者は之れを以て餘りに租稅殊に間接稅の負擔が過大なるに歸するものあるも、然かも「ルヰ、フヰリップ」及「ナポレオン」三世の時代にありて其稅率たるや遙かに今日の及ぶ處にあらず、殊に食鹽の如きは三倍砂糖は二倍の高率を有せしも、之れが出產數は今日の七十五萬に對して百萬に達せしものなりとす、又、現時にありても「ブリタニー」方面に於ける間接稅の如きは自餘の佛蘭西各部に比して優るとも劣るものなきに不拘、此方面の出產率は比較的大なるを以てしても、斯くの如き假定說の成立せざることを知るを得可し、更に第二の論點は出產率減少の原因を以て同國に於ける酒精中毒に歸するものあるも之れ亦た誤れる議論たることは、現に同國に於ける「フヰニステル」其他二三の州にありては酒精の消費額甚だ大なるに不拘、之

れが出産率は常に死亡率に超過するを常とせり然らば眞の原因は果して何處に存するやに就きて考察するに之れが原因となるものは以上述べたる二個の理由や、生活上の不如意或は生殖不能の如き生理的缺陷にあらずして、之れが根本の原因は實に內的原因即ち「出産」其者を欲せざる國民の意志に存す、此點に就きて佛國文壇の名士「ゾラ」は其作「みのり」の中に詳細に以上の原因を指摘すると共に、尙ほ言をなして曰く、歷史の最も恐怖時代を以てするも將た暴逆なる征服者の虐殺を以てするも。未だ佛國に於ける避姙其者程恐る可く忌む可き行爲はあらざるなりと、更に彼れの算出する處によれば巴里の公私の病院に於て生殖機關を截除せし婦人の數は十五年來、三萬乃至四萬に達せりと、而して最近の調査によれば、以上の數は更に甚しきを加へ、好んで姙婦の資格を失し婦人は約五十萬に達すと斯くて避姙の傾向は單に同國の上流社會のみならず、農民及勞働者の階級に至る迄普ねく全國に其傾向の蔓延するを認むるに至れり、殊に勞働者間に見る最近の傾向は之れが離婚數の多きことにして、其數は千九百年に七千百五十一件に止まりしものが千九百十年には更に增加して一萬三千四十九件となれり、斯くの如く離婚數の大なる理由は之れに關して費用を要することなく、即ち一般人民が平均二千五百法を必要とするに對して、彼等の要する處は僅かに十五法乃至二十法に過ぎず、斯くの如き狀態は勢ひ勞働者をして夫婦別れをなすこと尙ほ自己が工場より出づる際の如く容易に感せしむるに至り、獨身的生涯に入るもの多きと共に其間忌む可き病に犯さるゝもの少からず、實に佛國に於ける人口減少の問題は以上述ぶるが如く道德倫理的性質を有するものなりとす、之れを要するに、三十年間本問題に沒頭せし佛の有名なる經濟學者「ルーロア、ボリュー」がいへるが如く佛國現時の傾向にして毫も變化せざらんか、其間如何に醫學の進步を以てするも、爾後二十年の間に於て、佛國は年々少くとも十萬の生命を失ふに至り、斯くて二十世紀の終末に於ける同國の人口は三千九百萬の代りに僅かに三千萬を以て算するに至る可しとなし、更に出産率減少の理由は之れを見出すは必ずしも困難にあらずとなし、之れが衆知の事實として佛國の配偶者間に子を生むを欲せざる傾向の存することを指摘し斯くの如き傾向の發生せし理由を主として佛國が餘りに民主化せしことゝ一方には宗教的信仰が著しく破壞せらるゝに至りしことを以てせり、更に此方面の研究に思を潛みし士に巴里の統計學者「ジャック、ベルチロン」あり、彼れは其著「佛國人口減少論」に於て之れが原因として世人が屢々口にする佛國民の肉體的能力が衰弱の徵候ありとの言を有名なる生理學者の證明によりて打破し「ルーロア、ボルュー」の說と同じく過去に於ける避姙的傾向の爛んなるを論じて第三共和國の精神的指導者たりし人々は十中八九子孫を殘さず、彼の「チェール」の如き「ガムベッタ」の如き何れも之れを證明するものなることを以てせり、更に彼れは避姙の根本動機を以て極端なる節儉的貯蓄熱の爛んなるに歸し、且つ之れに加へて結婚其者が甚だしく煩雜な形式によるより、自然之れを囘避せんとする風潮の存することを指摘せり、彼れは佛國人口の減少が同國の兵備に及ぼす影響に就きて多くを費さゞるも、他面此問題の及ぼす處は佛國の富の減少となり、商業及農業の停滯となり、企業心の消耗となり勞力の缺乏となり、其結果、同國が有する殖民地の如きは其經營不可能の狀態に陷るに至る可きこと云をへり。

次ぎに之れが弊を救濟する方法に就きては從來統計學者、經濟學者、代議士、新聞記者等によりて研究せられしもの多く、既に世に公にせ

られしものゝ中には吾人をして抱腹絶倒せしむる妙案少からず、又、同國政府其者にありても「ワルデック、ルーソー」の如きは千九百二年を以て人口問題に關する委員會を組織せしも、其經費の都合にて一時中止するに至れり、其後千九百七年に至り出産數よりも死亡數多きに驚きし當時の佛國政府は更に本委員會を復活せしも何等具體的の解決案に接せず、而して一面「ルーロア、ボリュー」の如きは此解決策と國家とを連結して、將來佛國政府は勿論、地方自治體の官公吏に至る迄、少くとも三人以上の子供を有するものを以て任命すること、即ち公職を以て此問題の解決をなすことは人口問題に對し最も好個の影響を與ふ可しと云ふにあり、次ぎに彼れが第二の策として論せし處は兒童の出産數に對して奬勵金を附與す可しと云ふにあり、即ち彼の論ずる處によれば佛國の豫算は商船や麻栽培や、蠶糸や馬匹の保護奬勵の爲めに少からざる資金を投ぜるに對して、獨り之れが人口增加に對する奬勵資金を除外することなかる可し、斯くて彼れは第三子以上の出生に對しては各兒出生毎に其家庭の貧富を論ぜず、二年間に五百法を支給し、年に出生者を三十萬乃至三十五萬と見積りて一億五千萬乃至一億七千五百萬法を豫算上に計上す可きことを以てせり、以上の計畫に對して「ベルチロン」の如きは出生者を多數有する家庭をして租稅の如き國家的義務を輕減せしめ年若しくして父たる地位にあるものは之れが兵役の年間を短縮し、兒童多き寡婦は國家之れが生計を補助し新「マルサス」主義を信奉する家庭は一朝其相續者に引繼ぐ場合に於て高率の相續稅を課す可すことを以てせり、又た獨逸の有名なる歴史家にして今は故人たる「カール、ランプレヒト」の如きは之れが救濟策の重要なる要素として國民の自己修養殊に宗教的信念の復活を以てせり。之れを要するに將來に於ける佛國人口の增加は其根本的動機を國民の精神的改造に俟たざる可からず。然かも戰後の物價騰貴即ち生活難と多産主義とが果して調和し得可きや蓋戰後の佛國にとりて最も興味ある問題たるを失はざるなり。

北米合衆國の通貨制度（一）

三宅嘉十郎

要　項

一、合衆國の通貨の種類及流通高
二、合衆國の貨幣（硬貨）
三、合衆國の政府紙幣（以上本號）
四、銀行券
五、聯邦準備紙幣
六、合衆國通貨制度の將來

米國の貨幣制度及紙幣發行制度は、其の複雜にして且種類の多樣なる他國に多く例を見ざる所にして、殊に一九一四年以來實施せる新銀行法に依り、更に二種の紙幣を加へ益々複雜を增したるが如し。されば合衆國通貨制度の全般に渉りて之を詳說するが如きは固より容易の業に非ざるべく、茲には其現在流通せる十種の通貨を基礎として其大要を紹介するに止めんとす。

一、通貨の種類及流通高

今日北米合衆國に流通せる通貨の種類は金貨金證券、本位銀貨、銀證券、補助銀貨、一八九〇年大藏省紙幣、合衆國紙幣、聯邦準備紙幣、準備銀行券及國立銀行券の十種にして、同國大藏省月報に依れば本年八月一日に於ける此等各種通貨の流通高は左の如し。

種目	流通高
金貨 Gold Coin	七四八、一四八千弗
金證券 Gold certificate	一、七三六、九六六
本位銀貨 Standard silver Dollars	七一、八一〇
銀證券 Silver certificate	四三七、四八八
補助銀貨 Subsidiary silver	一九四、九七五
大藏省紙幣 Treasury notes of 1890	一、九五九
合衆國紙幣 United States notes	三三六、一三四
聯邦準備紙幣 Federal Reserve notes	五八一、一六六
準備銀行券 Reserve bank notes	一二、六二九
國立銀行券 National bank notes	六九四、八〇五
合計	四、八五二、〇八四
其他白銅貨及銅貨	若干